

報告2

恒例のティーボール大会は残念ながら雨で中止になったけど・・・

『ティーボールの歴史』

～その歴史、そして今を紐解く～

ぱれっと恒例行事の一つ、「ティーボール大会」をはじめ、毎月定期的にティーボール練習が行なわれるなど、ぱれっとにとって最も馴染みの深いスポーツ「ティーボール」。今回は、そんなティーボールにスポットを当てて、発祥や歴史を紐解いてみたいと思います。

●あらためて、ティーボールとは？

ティーボールとは、野球やソフトボールに極めて類似したボールゲームで、もともとは1988年に国際野球連盟と国際ソフトボール連盟が協力して考案した、アメリカ発祥の競技。野球の入門的な存在として、技術的に未熟な子どもたちに、野球の基本や楽しさを伝えようという理由から誕生しました。野球やソフトボールとの大きな違いは、ピッチャーが不在であり、バッターボックスに設置されたボールに固定されたボールを打つ、すなわち止まった球を打つという点です。老若男女問わず、そして障がいのある方でも充分に楽しむことができるスポーツです。止まっている球を打つというのは、一見簡単そうに見えて意外と難しく、そこがまたティーボールのおもしろさでもあります。



だれ たの
【誰でも楽しむことができる！】

●ティーボールの広がり

ティーボールは現在、文部科学省の学習指導計画に盛り込まれており、全国の小学校の体育授業で実施されています。さらにティーボールは、アメリカのみならず、近隣の台湾や韓国でも同様に学校の授業に取り入れられ、中国でも約3,000の学校で採用されています。これらの国々の児童による交流試合が日本で開催されていたりと、国内外で加速度的な広がりを見せています。

●ティーボールとぱれっと

ぱれっとでは、関係者・保護者の方々にご協力頂きながら、ティーボールを通じて、障がいの有無や世代を問わず、地域の方たちとの交流を推進しています。

企業や一般の方々も練習に参加をされたり、2002年に始まったティーボール大会では、地域の小学生野球や他団体チームなどが一堂に会し、より一層盛り上がりを見せています。ぱれっとでは、今後とも皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(たまり場ぱれっと職員 吉岡悠真)

お知らせ

4月に予定されていたティーボール大会は残念ながら雨のため中止になりました。現在、7月23日の開催に向けて、調整を進めています。詳しくは10ページ、「Let's Go」をご覧ください。